

Joomla キャッシュ (解説編)

<https://docs.joomla.org/Cache>

1. 管理者向け

1-1. 概要

Joomla サイト上には、キャッシュされる3つの事柄があります。

- 1) ページ全体 - **ページキャッシュ**
- 2) そのWebページのJoomla コンポーネントからの出力 - **表示キャッシュ**
- 3) そのページに表示されるモジュールからの出力 - **モジュールキャッシュ**

何をキャッシュするかを制御するいくつかのキャッシュ設定があります。

- 1) **システムプラグイン** — 「システム - ページキャッシュ」
- 2) グローバル構成、システムタブ、キャッシュ設定。

ここでは、システムキャッシュのオプションとして、

- ・OFF — キャッシングは**無効**
- ・ON — **コンサバティブ** (保守的な) キャッシング
- ・ON — **プログレッシブ** (積極的な) キャッシング

- 3) オプション内の多くのモジュールには、「キャッシング」をグローバル設定を使用するか、またはローキャッシングにするかを設定できる「**アドバンス**」**タブ**があります。

また、Joomla コード内に実装され、ユーザーが制御できないキャッシングのルールもあります。

キャッシュは、管理者メニューオプションの「システム / クリアキャッシュ」でクリアできます。

一般的に、Joomla には3レベルのキャッシュがあり、順に積極性が高くなります。

- 1) **コンサバティブ** (保守的な) キャッシング
- 2) **プログレッシブ** (積極的な) キャッシング
- 3) **ページキャッシング**

1-2. ページキャッシング

これをオンにするには、エクステンション > プラグインに移動し、「システム-ページキャッシュ」**プラグインを有効**にします。こうすると、サイトページがキャッシュされるようになり、Joomla がデータベースの情報から生成するのではなく、要求されたときにキャッシュされたページが提供されることとなります。キャッシュされたページは、グローバル構成 > システム > キャッシュ設定での**キャッシュ時間**パラメーターで定義された時間が切れるまで続きます。

この設定をテストしたければ、グローバル構成のキャッシュ設定を次のように設定します。

- ・キャッシュハンドラー - ファイル
- ・キャッシュフォルダへのパス - 空白のままにします
- ・キャッシュ時間 - 15 (デフォルトの 15 分)
- ・システムキャッシュ - オフ - キャッシュ無効

(確認法は省略)

記事 (または他の Joomla アイテム) を変更しても、その記事が表示されている Web ページのページキャッシュはクリアされません。 ページキャッシュをクリアするには、管理者の**システム> キャッシュのクリア**に移動します。「ページ」と呼ばれるキャッシュグループの横にあるチェックボックスをクリックして、削除ボタンを押します。Web ページを再表示すると、修正されたテキストが表示されます。

サイトに買い物かごのような機能がある場合、ページにキャッシュを適用すると問題が発生します。そのページには、顧客がすでに選択したものを表示する必要があるためです。

ただし、「システム> ページキャッシュ」プラグインを構成して、指定したメニュー項目または指定した URL と URL 範囲 ([詳細設定] タブ) をキャッシュから除外して、本当に静的なページのみがキャッシュされるようにすることができます。

1-3. 保守的なキャッシング

コンサバティブな (保守的な) キャッシングを使用すると、キャッシュを許可する**コンポーネントからのビュー出力とモジュールからの出力**をキャッシュできます。

ただし、「ページキャッシュ」を使用していない場合でのみ機能することに注意してください。ページキャッシュは Web ページ全体がキャッシュされ、保守的なキャッシュも考慮されていません。

保守的なキャッシングを使う場合は：

- 1) 管理者のグローバル構成> システムに移動し、「キャッシュ設定」でシステムキャッシュを ON に設定します-保守的なキャッシュ
- 2) エクステンション> モジュールに移動し、キャッシュしたいモジュールを選択します。そのモジュールがキャッシングを許可している場合、「高度な設定」タブでキャッシングを次のように設定できます。
 - ・グローバルを使用 - このモジュールはキャッシュされます (グローバルオプションは保守的なキャッシュに設定されています)
 - ・キャッシュなし - このモジュールはキャッシュされません。

(グローバル構成のキャッシュ時間は分単位ですが、モジュール設定のキャッシュ時間は**秒単位**であることに注意してください。)

(確認法は省略)

その記事を編集して保存し、サイトページを更新すると、今回はサイトに更新されたテキストが表示されます。これは、編集が保存されるたびに、Joomla がその記事のキャッシュをクリアするためです。

どのコンポーネントビューをキャッシュするか、どのような状況で選択するかについては、残念ながら、あなたはこれを行うことができません。これは、Joomla コアコンポーネント開発者によって決定され、コンポーネントの php コードでコーディングされます。また、基準はコンポーネントごとに異なります。

ただし、どのサイトコンポーネントがサイトの controller.php ファイルにコード化されているかによって、使用されている基準を簡単に見つけることができます。

(確認法は省略)

1-4. プログレッシブキャッシング

保守的キャッシングと同様に、プログレッシブ (積極的な) キャッシングも**コンポーネントビューとモジュール**からの出力をキャッシュします。2つの機能の違いは、ログオフしたユーザーのプログレッシブキャッシングでは、すべてのモジュールが常にキャッシュされることです。この場合、モジュールの「キャッシュなし」オプションを設定しても効果はありません。キャッシュストレージオプションが「ファイル」の場合、モジュールキャッシュファイル (すべてのモジュールからの出力は同じファイル内に保存されます) は cache / com_modules ディレクトリ内にあります。

プログレッシブキャッシングをオンにするには、管理者のグローバル構成 > システムに移動し、「キャッシュ設定」内でシステムキャッシュを ON に設定します-プログレッシブキャッシング。

Joomla コアコンポーネントビューのキャッシュの条件に関しては、保守的キャッシュとプログレッシブキャッシュの間に違いはありません。一部の Web サイトで読んだ内容とスタックオーバーフローの質問への応答にもかかわらず、ユーザーがログオンしていないときの保守的なキャッシュと、ユーザーがログオンしたときのプログレッシブキャッシュは関係ありません。

以上